

毎日の業務中での「一コマ」紹介！ (社員の感想等)
業務報告(日報)の中から、その一部を紹介させていただきます



○高齢者のお客様には「詐欺に注意して下さい」と話をしています。県内でも被害が出ているようです。
○今日のお客様はよくお話しして下さいるので、最後に行きついでゆっくりお話を聞きました。

○道幅が狭く急勾配の坂道でしかも落ち葉でバキューム車が滑るため、落ち葉を撤去しながらやっと帰れた。

○川上町のお客様宅に行くのに区画整理中で道路があちこち寸断され、風景もすっかり変貌し、場所が分からなくて到着に時間がかかった。

○浄化槽が草に囲まれた現場が、今日点検にいったらキレイに草刈りしてあり気持ち良かった。心配りがうれしいものです。
○点検終了後にお客様からコタツがつかないと言われたので、見てさし上げたら簡単に直せたので喜ばれました。

○谷山の清和小付近は下水道工事をあちこちでやっていて浄化槽がどんどん無くなっていく、今日もお客様2件から近いうちに下水道切替予定との連絡を受けた。

○点検に行きピンポンを押すと小学生の男の子が出てきて「よろしくお願ひします」と言われた。吉野小は教育がいいなと思った。
○吉野町の点検時に、鹿屋方面上空をオースプレイが飛んでいるのを初めて見た。

○イノシシが獲れたとのことで、お客様が全身をバーナーで焼いていました。この後解体するとのことで、初めて見たのでビックリしました。
○点検にいったら神村学園女子サッカー準決勝の試合放映中、身内の方が出場とのことで私も5分間ほど一緒に応援し試合は勝利、お客様と盛り上がりました。決勝の試合で勝ってほしい。(準Vおめでとう!)

○浄化槽の清掃作業をお客様が最初から最後まで見られ「とてもキレイになったね」と褒められたので、さらにプロ意識を持って仕事をしようと思った。

○今日のお客様は90歳にしても背筋も伸び、耳もよく聞こえとても元気で、たまに天文館に飲みに行くお客様でした。

○天皇皇后両陛下御臨席の青年海外協力隊発足50周年記念式典に参列させていただき感激でした。20代後半に協力隊員としてバングラディッシュで働いていた縁です。
○郡山の現場から帰社途中の午後3時50分に、種子島から打ち上げられたロケットの光跡が桜島方面に見え感動した。

○浄化槽の近くにいる老犬が点検に行くたびに衰えてきて、今日は声をかけても反応がなかった。

○自宅で牛を飼っている85歳のおばあさんが、最近住宅が増えてきたので気を使いながら生活していると約30分話をされました。
○松元から帰社中、交差点で信号無視で走行した車をパトカーが追いかけて捕まえているのを見た。

○雨の中での清掃作業はきつかった、風邪をひかないように体調管理をします。

○今日も寒い、お客様宅の室内にいたワンちゃんがとても暖かそうに見えた。

○道路にバキューム車を駐車し狭い道を塞いでの清掃現場、作業中の看板を見て多くのドライバーが迂回して下さり助かりました。なかには「お互い様だからいいよ!」との声もいただきました、春山町のドライバーの方々に感謝です。

○お客様から「猫がいなくなったので見かけたら連絡下さい」と張り紙をもらった。
○雨がどしゃ降りでお客様に「こげな日に来たとや〜」と言われたので「こんな日でも頑張りますよ〜」と返事をして笑い方でした。

かたいもんそ

平成15年5月創刊 「かたいもんそ」は、<http://bunka-inc.jp>にてご覧いただけます。45号は平成28年2月1日より配布開始しています。

さて、最近読んだ本や情報等から再び時代の転換期がきていると感じています。1800年後半、蒸気機関により人力から機械化にシフトし、1900年前半、石油・化学・電機工ネルギーにより、大量消費時代の到来で生活が一変し文化的になりました。現在も進行中の第3次産業革命では、コンピューター情報通信による電子システム化・自動化され社会構造、利便性が一層高まっています。これからの変化は、第4次産業革命といわれ、ITの小型化・人工知能・ロボットが生活・社会に変革を興していきます。「早く確実で臨機応変な通信できる」「モノ」が社会に与える影響は計り知れません。現在では想像しえないものが現れ、すぐに日常に溶け込みます。変化が起こる間隔が短くなり、その陰でとってかわられ、斜陽する産業やモノがでてきます。

将来を予測し前向きに憂い、社員・地域に必要とされる企業であり続けたいものです。

発行所 株式会社 文化社
本社 鹿児島市新栄町22-26
TEL 099-256-0075
支店 日置市伊集院町1264-3
TEL 099-273-2588

第45号



社長:土屋 受九

!!! 祝 !!! 郡山体育館がオープン

鹿児島市が整備を進めてきた「郡山体育館」が1月6日にオープン。場所は東俣町の郡山総合運動場内の「スパランド裸・楽・良」に隣接。1階アリーナはバレーコートが4面、バドミントンコートは12面が確保できる広さで、2階観客席は400席。新たなスポーツ拠点施設として期待が寄せられています。



☆清掃技術社内現場研修会

弊社の第2課(清掃班7名)全員が参加して、27年10月29日、適正な清掃技術の習得及び作業効率の向上を図るための現場研修を行いました。
最近の新型浄化槽は、メーカー機種ごとに構造が異なり複雑化しています。また通常は1人作業が多いことから、他の人の作業内容等を知ることができる現場実習と社員同士の意見交換は、実際の現場対応に参考になっています。



☆環境保全協会鹿児島市支部 ~浄化槽管理士研修会~

27年11月16日、浄化槽管理士を対象とした研修会が鹿児島市内で開催され、約50名の参加がありました。
研修会では①浄化槽メーカー(フジクリーン工業)から「CA型の構造と維持管理について」②鹿児島県環境管理センターから「法定検査結果から見た維持管理の注意点」について説明がありました。



☆環境整備事業協同組合 ~浄化槽維持管理技術研修会~

27年11月20日、鹿児島市内で浄化槽維持管理技術研修会が開催され、県内から約300名(弊社16名)の参加がありました。
①油脂分の流入の浄化槽の水質改善②人口減少・高齢化におけるわが社の浄化槽維持管理業務③水質悪化施設の追跡調査及び水質改善事例④中・大型浄化槽の維持管理、の研究発表等がありました。



微生物のため洗剤等の使用は適量をお願いします！

～洗剤・漂白剤、トイレ洗浄剤、入浴剤、カビ取り剤、芳香剤～



合併処理浄化槽はし尿、台所、風呂、洗濯などの雑排水もいっしょに処理する浄化槽です。汚水がきれいになる原理は、さまざまな種類の微生物が汚水中の汚れを食べ、きれいな水にしてくれるからです。洗剤等を大量に使用されると微生物が弱ってしまい、水質悪化や悪臭発生につながります。これらの微生物が元気よく力いっぱい働けるよう、洗剤等の使用は適量をお願いします。

～洗濯～

洗剤はかならず適量をはかって使用して下さい。洗剤を大量に入れても汚れ落ちと無関係ですし、逆にマンホールから泡が出る原因となるだけです。漂白剤も適量の使用であれば大丈夫です。



～風呂～

温泉気分が楽しめる入浴剤は、適量の使用であれば問題ありませんが、硫黄化合物が含まれている入浴剤の使用は避けて下さい。カビ取り剤は大量に使用すると浄化槽内の微生物を殺してしまいますので、必ず適量を使用して下さい。



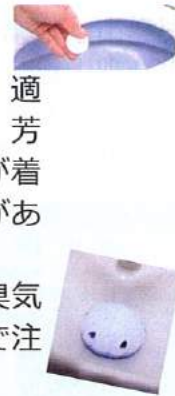
～トイレ①～

トイレ掃除の洗浄剤には塩素系、酸性、中性の3つのタイプが市販されています。洗浄剤を使う場合は、浄化槽対応タイプ（浄化槽用または浄化槽使用可）の表示があるもの又は中性洗剤を選び、必ず適量使用を守って下さい。使用量が多いと浄化槽内の微生物の働きが弱まり、浄化槽機能の著しい低下を引き起こすことがあります。



～トイレ②～

トイレの芳香剤は入浴剤と同様に、適量を使用すれば問題ありませんが、芳香剤に含まれる色素によって汚水が着色され水質悪化と間違えられることがあります。また香料と槽内の臭気が混じって臭気の問題を起こすこともありますので注意して下さい。



※気温と水温差の激しい冬場は微生物の状態により、「発泡」：蓋から泡があふれることもありますが、しばらくすると落ち着きます。水で洗い流せば大丈夫。

モーモーどん祭り（伊集院町・古城）

～昔から伝わる豊作感謝の伝統行事～

伊集院町古城に伝わる伝統行事「モーモーどん祭り」が27年11月22日、山の高台にある田の神像前でありました。くわえた餅を引っ張り合い、豊作に感謝するユニークな伝統行事です。

これまでは旧暦10月最初の「丑の日」に実施されていましたが、26年から子供も参加できるようにと日曜に開催されるようになりました。また行事の由来「丑の日」にちなみ「モーモーどん祭り」の名称が付けられました。

当日は大勢の地域住民（特に元気な小学生）の参加があり、公民館での餅つきや田の神像前での餅の引っ張り合いに、会場はおおいに盛り上がりました。



妙円寺詣りフェスタ2015（伊集院）

鹿児島三大大行事の一つである「妙円寺詣り」が27年10月24日と25日、伊集院町の徳重神社で開催されました。鹿児島市から約20km歩いての参拝者、鎧兜に身を固めた勇壮な武者行列の参拝、各地域の伝統芸能の奉納などで会場は終日賑わいました。

【妙円寺詣りの由来】 天下分け目の戦いとして知られる関ヶ原の戦いの折、豊臣方として戦った島津義弘率いる島津勢1千余りは、徳川方に前後を包囲され全滅の危機の中、敵中突破で血路を開き、苦難の末にわずか80人余りが薩摩に帰り着きました。

鹿児島城下の武士たちは往時の苦難をしのび、いつからともなく島津義弘の菩提寺である妙円寺に参拝するようになりました。

☆ 妙円寺は600年の歴史を有する曹洞宗の禅寺で、島津義弘の墓所となったこともあり薩摩藩有数の禅寺となったが、明治2年の廃仏毀釈で廃寺され其の跡に徳重神社が建立された。その後妙円寺は明治13年に徳重神社の西方100mの場所に再興されています。



鹿児島の三大大行事の一つで義弘没後から脈々と続く妙円寺詣りについて補足。義弘没後に、鹿児島の城下侍達が義弘の遺徳を慕い、関ヶ原の苦闘をしのび菩提寺である妙円寺（現在は徳重神社）に鎧姿で歩いて参拝し志気を鼓舞し心身を鍛錬するもの。徳川の目を気にしなくて良くなった明治維新後に公に行われるようになり、精神と身体を鍛える「郷中（ごうじゅう）教育」の一環として現在まで受け継がれている。（参考：島津義弘.comより）

薩摩日置鉄砲隊！初演武を披露

27年8月に発足した火縄銃の「薩摩日置鉄砲隊」が、妙円寺詣りの会場で初演武を披露しました。腹にズシンと響くようなごう音、銃口から飛び出す閃光と硝煙、射手が入れ替わり連続して放つ「三段撃ち」、城門などを破壊する大型火縄銃の大迫力が、来場者を圧倒しました。

なんでも鑑定団の澤田先生が2年前に伊集院町で講演をされた折りに「地元の皆様にお願ひがあります、関ヶ原の戦いの敵中突破で有名な島津義弘公に関わりが深い日置市には鉄砲隊があつてしかるべき」とのお話が鉄砲隊発足のきっかけとのことです。



関ヶ原の隼人たち ～大迫力のリアル合戦絵巻～

27年11月8日、伊集院文化会館で伝説の敵中突破を再現した「関ヶ原合戦戦国絵巻」がありました。演じたのは一部の劇団員と公募で集まった一般の男女約200名で、島津義弘や石田三成、徳川家康や黒田長政らの東西の軍に分かれて、舞台上で合戦を繰り広げました。

当初は伊集院小学校の校庭で実施予定で、前日には会場設営やリハーサルも行われ準備も整っていましたが、雨の予報のため会場を急きょ変更。それでも1200席の会場は満席となり立ち見が出る人気でした。戦国島津と日置市とのつながりを体感したイベントでした。

